

患者さんを家族のように愛する・・いい医療をより多くの患者さんへ

奈良県西和医療センター情報誌

ファミユ ～みむる～

復刊
第6号
平成29年
11月



ご挨拶

新任医師紹介

新着情報

診療科紹介：呼吸器内科

病気の話：COPD（慢性閉塞性肺疾患）

各部門情報：中央臨床検査部

　　口腔ケアチーム

西和医療センター便り

公開講座案内



地方独立行政法人 奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター
Nara Prefectural Seiwa Medical Center

病院長からご挨拶



地方独立行政法人
奈良県立病院機構
奈良県西和医療センター
院長 横山和弘

奈良県西和医療センター情報誌「ファミーユ～みむろ～」第6号をお届けします。今回の診療科紹介は呼吸器内科です。前回第5号の冒頭でも紹介させていただきましたが、呼吸器内科は、平成29年7月1日からは、常勤医師2名（第5号の新任医師コーナーで顔写真入りで紹介）と非常勤医師1名の充実した体制となりました。とくに専門的な気管支鏡検査により呼吸器疾患の診断・治療に

大きく貢献できるようになっています。

病気の話は、呼吸器内科に関連してCOPD（慢性閉塞性肺疾患）のことがわかりやすく説明され、この分野でもタバコの弊害が指摘されています。また中央臨床検査部からは呼吸機能検査、さらに誤嚥性肺炎の予防が紹介され、このファミーユの情報が少しでも地域住民の皆様方の健康に役立ちますことを願っています。

新任医師紹介

平成29年9月1日付け

脳神経外科医員



よこやま しょうへい
横山 昇平

専門医・専門分野

- ・脳神経外科全般
- ・日本脳神経外科学会認定専門医

皮膚科専攻医



もり あすか
森 明日香

専門医・専門分野

- ・皮膚科全般

平成29年10月1日付け

小児科医員



さえき
佐伯しのぶ

専門医・専門分野

- ・小児科全般



新 着 情 報

今年も災害訓練を開催します



当センターでは、万一の災害に備えて毎年災害訓練を行っています。
今年も、下記の日程で開催します。

入院・通院中の患者さん、お見舞いの方にはご迷惑をおかけ致しますが、ご理解とご協力をお願い致します。

日時：11月10日（金）
15時～予定



2017年7月から呼吸器内科医2名が常勤となり、
診療体制が充実しました。

2014年4月から非常勤医2名にて
週に2回の外来診察のみを行っていましたが、
2017年7月から
常勤医2名と非常勤医1名の体制となり、
週に5回毎日の外来診察、入院対応が
可能となりました

<診療の内容>

呼吸器内科では肺・気管の病気を診ます。症状は咳、痰、息切れ、胸痛などですが、これらの症状は肺の病気のことも、心臓のことも、腎臓や貧血からくることもあります。

咳の出るのは一日でいつが多いか?また1年でいつが多いか?息切れは歩いたときか?安静にしているときか?痰の色は?このような問診と、診察、レントゲンやCTなどの画像検査、呼吸機能検査、気管支鏡検査(肺の胃カメラみたいなもの)により、診断、そして治療へ結びつけていきます。

<外来診療担当表>

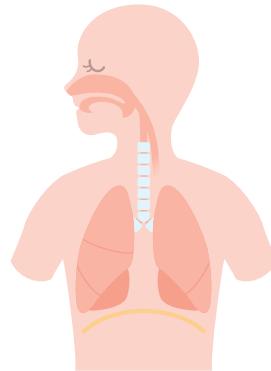
	月	火	水	木	金
午前	中村	杉村	中村	中村	杉村
午後	中村	杉村	中村		杉村

病気の話

COPD(シーオーピーディー) 慢性閉塞性肺疾患

・COPDとは

肺気腫や慢性気管支炎という名前をご存じですか。今はこれらをあわせて COPD と呼んでいます。



・肺の構造

気道は、のど元の太い気管が、次々と枝分かれして細い細い気管支となり、その先の先には肺胞という風船があり、その表面で酸素と二酸化炭素のガス交換をしています。

・たばこを吸っていると……

肺胞の壁がもろくなり小さい風船がぎっしり詰まっているべきところが、すかすかの弾力のない大きい風船になったり、気道が狭くなり空気が通りにくくなります。そのため咳、痰、動いたときの息切れがでてきます。はじめは階段や坂で息切れがする程度、でも悪化すると同年代の人と同じスピードで歩けなくなり、もっとひどくなると着替えや入浴などの身の回りの事にも支障をきたします。

・診断は？

レントゲンや CT にて、肺が膨らみすぎ（過膨張）で黒っぽくうつる、呼吸機能検査にてはき出す力が弱い（一秒量が少ない）などの検査を行います。中でも呼吸機能検査は診断確定には必須で、肺年齢（あなたの一秒間に吐き出す量が何歳の肺に相当するか）が調べられる機械もあります。

・治療

原因はたばこですので、必ず禁煙しましょう。もう何十年も吸ってきたからいまさら...、と思っている方でも、禁煙による効果はあります。その上で気管を拡げて空気をはき出しやすくする吸入薬を吸ってもらう薬物療法。また呼吸筋を上手に使う呼吸リハ



ビリテーション、さらに酸素不足の方には自宅で酸素を吸う方法（在宅酸素療法）や呼吸をサポートする器械をつける方法（非侵襲的陽圧換気）を導入し、呼吸管理をおこないます。

そもそも一番大事なのは、たばこを吸わないことですね。

中央臨床検査部

呼吸機能検査とは

呼吸機能検査で何がわかるの？

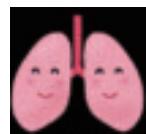
肺の機能を調べる検査です。呼吸時の呼気量と吸気量を測定し、肺の弾力性・胸部拡張性・気道閉塞の有無などを調べます。



呼吸機能検査は何のためにするのか？

喘息や慢性閉塞性肺疾患(COPD)、間質性肺疾患をはじめとする呼吸器の病気が疑われる時やその状態をみるときに行う検査です。

また、全身麻酔で手術の予定がある時にも行われます。肺の機能が低下している時は、麻酔法や手術の内容を変更する場合もあります。



当院センターではVC(肺活量)、FVC(努力性肺活量)、MVV(最大換気量)を実施しています。

検査の方法

最大限の努力で息を吐いたり吸ったりする検査です。

スパイロメータという機器を使用し、鼻から空気がもれないようにクリップでつまみ、マウスピースという筒をくわえて測定します。

検査技師の指示に従って呼吸していただきます。

検査時間は10分～15分程度です。



例) VC(肺活量)：普段と同じ呼吸を数回行い、一度限界

まで息を吐き切り、その後限界まで吸い、もう一度限界まで吐き切ったら「肺活量」の測定ができます。

※臨床検査部からの最新情報※

H29年8月より、精密の終夜睡眠ポリグラフィー検査(PSG)を開始しています。

PSG検査とは、夜間睡眠中の身体の状態を、装着した複数のセンサーを通して睡眠の深さや質、睡眠中のイビキや身体の動き、中途覚醒の有無等を測定する検査です。睡眠時の無呼吸状態の有無の検出に有用です。



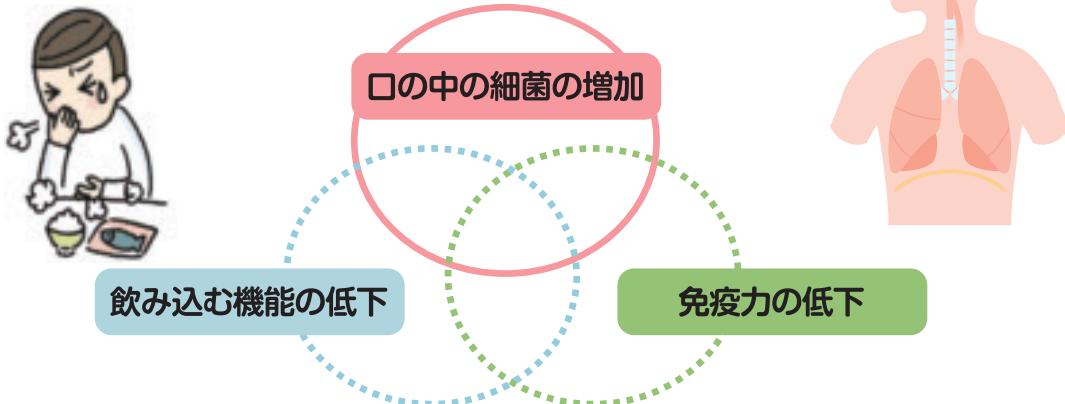
☆ご不明な点は中央臨床検査部までお問合せ下さい。☆

口腔ケアチーム

誤嚥性肺炎とは

物を飲み込む働きが障害され、口から食道へ入るべき唾液や食べ物などと一緒に細菌を気道に誤って吸引することにより発症します。

誤嚥性肺炎発症のリスク因子



誤嚥性肺炎発症の主なリスクには、①口の中の細菌の増加、②飲み込む機能の低下、③免疫力の低下などが挙げられ、これら因子が重なることで発症率が高くなります。そのため、口の中の細菌の数を減らすことで、発症を予防する可能性があると言われています。

口の中の細菌除去

①歯や義歯の周りの細菌

歯垢や歯石となって歯や義歯の周りには強固に細菌が付着しています。歯垢は歯ブラシなどで丁寧に除去しましょう。



また、歯石を除去するには歯科医院での機械による清掃が必要です。

②舌の表面の細菌

舌苔となって舌の表面にも細菌が存在します。



やわらかい歯ブラシや舌ブラシなどでやさしく除去しましょう。

③唾液中の細菌

ぶくぶくうがいを行い、除去します。うがい薬を使用するとより効果的です。

入院や手術の前に歯科医院を受診し、歯垢や歯石などを除去してもらうことが大切です。また正しいブラッシング方法を指導してもらい、入院中もお口の中を清潔に保ちましょう。

入院中、お口の中のことなどで気になることがあつた場合は、口腔ケアチームにご相談ください。

歯科：青木

●西和医療センター便り●

正しい感染予防策(手洗いとマスクの着用) 感染対策室

インフルエンザとノロウィルス腸炎は、秋から冬にかけて流行します。
感染力が強いので、「かからない」「うつさない」ようにすることが重要です。

インフルエンザの予防

1. 咳エチケットを守る

咳が出る時はティッシュなどでおおう。

家族や身近な人に症状があれば、
早めにマスクをする。

※マスクをするときの注意点

すきまをつくらず、顎までしっかりと覆う。

2. 手をこまめに洗う

基本は石けんと流水で洗う。
水道がない場所ではアルコール入りの
手指衛生剤を使う。

3. インフルエンザのワクチン接種を 受ける

日頃から栄養・休養をとり、体力と抵抗力をつけましょう

感染管理認定看護師



ノロウィルス腸炎の予防

1. 流水と石けんで手を洗う

アルコールの手指衛生剤は効果がない
ので、石けんと流水でしっかり手を洗う。



2. 調理する場合はよく加熱する

3. 感染した人の便やおう吐物に直接触れない

処理は、マスクを着用し、手袋やキッチンペーパー
などを使って行う。



感染予防のためにこんな時に手洗いを!

手洗いは30秒!



- 外出から帰った時
- トイレの後
- 調理の前後
- 手が汚れたと思ったら
- 感染した人の汚物を処理した後
- 赤ちゃんのお世話をする前後

「もしもし、かめよ」は2番まで

♪「さらさら星」なら

1回歌えば、30秒です。♪

30秒かけて指の間や

爪、指の先まで

丁寧に洗いましょう

公開講座を開催しました

7月22日(土)にりーべる王寺において「歩いたり階段昇降の時に足の付け根や膝が痛くないですか。そんな悩みを解決します!」と題して公開講座を開催しました。



当日は200名を超えるご参加をいただきありがとうございました。なおファミーユ第5号に人工関節センターについて紹介していますので、ご覧下さい。

ボランティアさんのご紹介

当センターの正面玄関には、案内を行なうコンシェルジュとともにボランティアさんにも活躍して頂いています。

介護タクシー等からの昇降・入院時のご案内をはじめ、車椅子の点検・ミシン掛けなどの手助けをして頂いています。私たちにとって無くてはならない大切な存在です。



コンシェルジュとは玄関等でのご案内や誘導、来院された皆さまのお困りごとに応じる「接遇のスペシャリスト」です。

*当センターではボランティアさんを募集しています。詳しくは総務課まで。

●公開講座案内●

地域の方対象 公開講座

平成30年1月25日(木)
14:00～15:30

西和医療センター公開講座

場所:香芝市総合福祉センター多目的室

「心臓病のはなし

～基礎から最先端まで～」

西和医療センター副院長 土肥直文

「手術で治す

心臓血管疾患」

西和医療センター

心臓血管外科部長

田村大和



医療職の方 対象の講座

地域医療連携講座(当院にて)

11月16日(木)

心臓血管外科医師

弁膜症の治療

12月14日(木)

脳神経外科医師

壮年期の脳血管障害

1月18日(木)

眼科医師/耳鼻咽喉科医師

網膜疾患の臨床/
甲状腺・上咽頭のがん



*変更の可能性もあります。

詳細はお問い合わせ
下さい。

病院前道路からのview



<当院へのアクセス>



地域医療支援病院として、地域と力を合わせて、これまで以上に地域包括ケア・在宅医療の推進にも力をいれて取り組んでいきたいと思っています。

「ファミーユ」は年に4回の発刊を予定しています。地域の皆様の健康に役立ち、親しまれ愛される紙面作りをめざしていきます。

住民の皆様に役立つ情報・当院との連携についてなど、地域の登録医の先生方の投稿をお待ちしています。
詳細は地域医療連携室へお問い合わせください。

発行・編集

奈良県西和医療センター情報誌

発行日 平成29年11月1日

編集者 地方独立行政法人奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター 患者支援センター

〒636-0802 生駒郡三郷町三室1-14-16

TEL:0745-32-0505(代表) FAX:0745-31-1354

